

第23回日本母乳哺育学会 勉強会

日時：2月16日(日)10:00～16:00

会場：東医健保会館(東京都新宿区)

対象：保育士、保健師、医師、助産師、看護師、栄養士、薬剤師など

テーマ：母乳育児支援の基礎を学ぶ

プログラム：基調講演：①母乳育児はなぜ大切なのか／②乳児の変化と母乳分泌の機序／シンポジウム：保育所での母乳育児支援—エビデンスに基づいた支援を目指して

定員：100名程度

参加費：会員4000円、非会員8000円[当日申込(昼食なし)]

問い合わせ先：日本母乳哺育学会教育委員会主催勉強会・実行委員長 群馬バース大学保健科学部看護学科 臼井淳美

☎027-365-3366(代表)

第3回 新ゼロから始める 助産師超音波セミナー

日時：2月16日(日)10:00～16:35(予定)

会場：東京都助産師会館5階講堂(メイン会場、東京都文京区)
※全国の助産所、クリニック、病院で遠隔会場となっていました。詳しくは下記ホームページまで。

🌐<https://supportoffice.jp/midwife/echo/venue/>

プログラム：①「超音波の基礎と装置の使い方」GEヘルスケア・ジャパン株式会社／②「胎児超音波検査を理解する(講義編、ライブス

キャン編)」長谷川潤一(聖マリアンナ医科大学産婦人科准教授)／③「妊娠中期・後期の超音波検査」吉田幸洋(順天堂大学医学部附属浦安病院産婦人科教授)／④「当院での超音波検査」塩谷由美子(ウバウバハウス岡本助産院)／⑤「困った!を解決する。こんなとき、どうしたらいい?」田形千寿子(窪谷産婦人科)／⑥「胎児超音波スクリーニングの理解を深めよう」市塚清健(昭和大学北部病院産婦人科准教授)

参加費：[1日参加]日本助産師会・日本助産学会会員8000円、非会員1万円、学生3000円[半日参加]日本助産師会・日本助産学会会員6000円、非会員8000円

申込方法：下記申込フォームより

🌐<https://supportoffice.jp/midwife/echo/registration/>

申込締切：2月3日(月)まで

問い合わせ先：有限会社ビジョンブリッジ内 遠隔配信セミナー事務局

☎03-5229-6882

FAX03-5229-6889

東京 HIV と性の 教育セミナー 2020

日時：2月24日(月)13:00～16:30(受付12:30～)

会場：日本性教育協会セミナールーム(東京都文京区)

対象：教育現場で性教育、保健教育を実践している方、教職員、看護教諭、保健師、助産師など

テーマ：令和の若者たちの性事情 UPDATE! —性の教育をする前にこれだけは知っておこう

プログラム：

[プログラム1] 若者の性事情 UPDATE 3つの視点から

①2010年代における若者の性「拡大する性差とそれが意味するもの—『青少年の性行動全国調査』からの報告」林雄亮(武蔵大学社会学部准教授)／②性と健康「アッという間にHIVを越えた! 若者たちにひろがる梅毒—『ストップ梅毒』検査と治療の最前線から」今村顕史(がん・感染症センター都立駒込病院感染症科部長)／③性と人権「同性婚訴訟 始まる—同性パートナーシップと同性婚、何が違うのか」佐藤郁夫(ぶれいす東京)

[プログラム2] クロストーク

「ゲストとフロアのオープントーク」池上千寿子(司会・ぶれいす東京)

定員：30名

参加費：1000円

申込方法：Webサイトのフォームよりお申し込みください。

🌐<https://business.form-mailer.jp/fms/9e76a96284989>

問い合わせ先：ぶれいす東京セミナー係

☎03-3361-8964

✉office@ptokyo.org

無痛分娩関係学会・ 団体連絡協議会 カテゴリーD講習(第3回)

日時：2月24日(月)15:30～17:00[開場15:15(予定)]

会場：昭和大学横浜市北部病院西棟4階講堂(横浜市都筑区)

対象：「無痛分娩研修修了助産師・看護師」を目指す、助産師・看護師

内容：本講習は、無痛分娩の安全

な提供体制の構築に関する提言にある無痛分娩の安全な診療のための講習会「カテゴリー D」であり、安全な産科麻酔の実施と安全管理に関する最新の知識の修得および技術の向上のための講習会です。

講師：大原玲子(国立成育医療研究センター麻酔科)

定員：100 名

参加費：無料

申込方法：下記申込フォームより

☞ <https://www.j-cimels.jp/form.php?fn=frm1571793748>

問い合わせ先：無痛分娩関連学会・団体連絡協議会

☞ <http://www.jalasite.org/doc/doc-inq>

一般社団法人日本多胎支援協会(JAMBA) 専門職研修会

日時：3月6日(金)10:00～16:40

会場：中野サンプラザ研修室1(東京都中野区)

対象：保健師、助産師、看護師

テーマ：多胎妊娠から子育て期を支える有効な地域包括ケアとは

プログラム：「多胎妊娠の現状と課題」服部律子(岐阜県立看護大学教授・助産学)／「子育て期の現状と課題」布施晴美(十文字学園女子大学教授・小児看護学)／「保健師としての多胎支援と指導」大岸弘子(尼崎市・宝塚市新任保健師育成支援事業トレーナー保健師)／「保健師・助産師・看護師と当事者との連携・協働の実践例」糸井川誠子(NPO 法人ぎふ多胎ネットワーク理事長)

定員：80 名

参加費：【事前登録】JAMBA 会

員 6000 円、非会員 7000 円〔当日登録〕JAMBA 会員 7000 円、非会員 8000 円、学生 2000 円

申込方法：下記申込フォームより

☞ <https://ws.formzu.net/dist/S40316080/>

事前登録期間：2月25日(火)まで

問い合わせ先：一般社団法人日本多胎支援協会

〒651-2242 兵庫県神戸市西區井吹台東町 3-2-8-202

☎ FAX 078-992-0870

☞ jamba@jamba.or.jp

第4回 新生児生命倫理研究会

日時：3月14日(土)10:00～17:00(受付：9:30～)

会場：東京大学伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール(東京都文京区)

対象：医療関係者

プログラム：第一部 講演「出生前遺伝学的検査とゲノム編集のガバナンス」武藤香織(東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター教授)／第二部 特別講演「医療におけるパターナリズム」瀬戸山晃一(京都府立医科大学医学生命倫理学教授)／第三部 講演「子どものいのちをめぐる対話—代理意思決定について考える」笹月桃子(西南女学院大学保健福祉学部准教授)／第四部 症例検討「倫理的意思決定に苦慮した4症例」

※特別講演は専門医制度共通講習1単位、第三部講演は専門医制度小児科領域講習1単位

参加費：1000 円

申込方法：下記メールアドレスに名前と所属、職種を送付。(要事

前登録)

☞ nicu-office@umin.org

問い合わせ先：東京大学小児・新生児集中治療部 新生児生命倫理研究会事務局

☎ 03-5800-8659

☞ <http://nicu.umin.jp/>

第34回日本助産学会学術集会

日時：3月21日(土)～22日(日) [プレングレス3月20日(金)]

会場：朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター(新潟市中央区)

テーマ：人生100年時代の助産ケア

プログラム：会長講演「人生100年時代におけるゲノム医療と意思決定支援」有森直子(新潟大学)／特別講演「人生100年時代のウィメンズヘルスと助産」Professor Caroline Homer (Burnet Institute, University of Technology Sydney)／教育講演1 (CLoCMiP® ステップアップ研修・周産期の倫理に関する研修、要事前登録)「周産期と倫理」宮坂道夫(新潟大学)／2「新潟県における産科医療と助産の歴史」渡邊典子(新潟青陵大学)／3「新たないのちをチームで見守る—周産期医療チームの連携」豊島勝昭(神奈川県立こども医療センター)／4「学校で配慮と支援が必要なLGBTsの子どもたち」日高庸晴(宝塚大学)／シンポジウム1「乳がんと助産ケア」※／2「ときめき女性医学—助産学と女性医学の連携を探る」(共催：日本女性医学学会)※／3「大規模コホート研究が導く人生100年時代の助産ケア—『女性の生活習慣と健康』『環境と子どもの健康』に関する調

査から」* / 4「今世界が注目している出産ケア」* / 5「助産師教育の修業年限2年を考える」 / 6「女性の健康と冷え症のケア」* / 交流集会1「明日から使える！ 冷え症ケアの『技』」 / 2「授乳を取り巻く新たな動き—授乳・離乳の支援ガイド(2019年改定版)・乳腺炎ガイドライン2020」 / 3「性暴力への対応力を高める：日本版性暴力対応チーム研修体験のすすめ」 / 4「エディターが読みたいと感じる論文タイトル— Attractive article titles from the perspective of a journal editor」 / 5「新潟は米処！ 酒処！ もぐさ処？！ — 鍼灸師だけが知っている お灸の魅力とツボケア」 / 6「2019 助産政策はどう動いているか」 / 7「改訂のポイント！ エビデンスに基づく助産ガイドライン2020 — 妊娠期・分娩期・産褥期」 / 8「明日から活かせる！ 逆子妊婦に研究に基づいた情報提供を」 / 市民公開講座1「お母さんに知ってもらいたい予防接種の正しい知識—お子さんを感染症から守るために大人ができること」 齋藤昭彦(新潟大学) / 2「聴かせてください！ あなたの大切な人が産まれる時のこと」 堀内成子(聖路加国際大学)

※は CLoCMiP® ウィメンズヘルスケア研修

参加費： [当日登録] 会員 1 万 3000 円, 非会員 1 万 5000 円, 学生 5000 円, 懇親会費 9000 円(定員 100 名, 先着順)

※学生は助産師になるための教育課程(専門学校・大学・大学院等)に在学している学生・院生(専門学校・短大・大学等に在籍する看護学生等も含む)。

事前登録入金締切： 1 月 31 日(金)
※入金締切日を過ぎると、当日登録扱いとなり、教育講演1「周産期と倫理」の申込も無効となる

問い合わせ先 1： 新潟大学大学院
保健学研究科内事務局
〒951-8518 新潟市中央区旭町通 2-746

☎ & ☎ 025-227-0948

問い合わせ先 2： 株式会社アド・メディック内運営事務局
〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野 310

☎ 025-282-7035

☎ 025-282-7048

✉ jam34@admedic.co.jp

🌐 <https://admedic.co.jp/jam34/index.html>

追憶「毛利種子先生」 お産の心を語り継ぐ

日時： 5 月 17 日(日) 13:00~15:00

会場： 兵庫県学校厚生会館(神戸市中央区)

内容： お産の心を語り続けた毛利種子先生。助産歴 70 年、休むことなく助産師であり続けた一人の助産師。私たちはその生き方に深く心を揺り動かされました。先生の助産師として、女性として、母親として生きてきた証を思い返し、私たちに伝えたかったことは何か深く考えたと思います。

パネリスト： 嶋澤恭子(神戸市看護大学准教授), 毛利多恵子(毛利助産所所長), 森本文美(種子先生の分娩介助で出産された方), 高橋八重子(たかはし・いしむら助産所助産師)

参加費： 助産師 2000 円, 学生・一般 1000 円

申込・問い合わせ先：「種子先生のお産の心を語る会」メンバー・石村

☎ 090-8534-6372

☎ 078-974-9281

✉ aabcdef58@yahoo.co.jp

第 22 回日本母性看護学会 学術集会

日時： 6 月 28 日(日)

会場： 北里大学白金キャンパス(東京都港区)

テーマ： 母性を支える看護力—叡智を実践へ

プログラム： [メイン会場] 会長講演「母性を支えるために『看護力』を再考する」 島袋香子(北里大学看護学部教授) / 教育講演 I「現代母親像—重症心身障害児家族の QOL 支援から見えてきたもの」 小林保子(鎌倉女子大学児童学部児童学科教授) / 特別講演「女性の健康支援に漢方医学の力を活用する」 小田口浩(北里大学東洋医学総合研究所所長) / 教育講演 II「タッチングの科学—オキシトシンと親子の愛着」 山口創(桜美林大学リベラルアーツ学群教授) / シンポジウム「母性を支える看護力—叡智を実践へ」 立岡弓子(滋賀医科大学医学部看護学科教授), 大田康江(順天堂大学医療看護学部准教授), 岡本登美子(ウパウパハウス岡本助産院院長), 平林奈苗(北里大学病院看護部主任・母性看護専門看護師)

[サブ会場] 高度実践看護師育成支援委員会主催企画 / 教育セミナー「周産期の糖代謝異常の考え方と対応」 成田伸(自治医科大学看護学部教授)※ [CLoCMiP® レベルⅢ認証申請必須研修フィジカ

ルアセスメント：代謝] / ナーシングサイエンスカフェ「総合周産期母子医療センターってどんなところ？一産科病棟，小さな赤ちゃんがいるNICUで働く看護職に話を聞いてみよう」/ 特別企画「母子の健康と子育てを応援するコミュニティづくり—北海道大学 COI『食と健康の達人』拠点の目指す社会」吉野正則(北海道大学 COI『食と健康の達人』拠点プロジェクトリーダー / 日立製作所シニアプロジェクトマネージャー)，玉腰暁子(北海道大学 COI『食と健康の達人』拠点研

究リーダー / 北海道大学医学研究院教授)

参加費：[事前登録] 会員 7000 円，非会員 9000 円，[当日参加] 会員 9000 円，非会員 1 万 1000 円，学生(大学院生除く) 2000 円

事前登録期間：1 月 20 日(月)～5 月 22 日(金)

事前登録方法：下記 URL のオンライン参加申込フォームより
<https://bosei22.secand.net/sanka.html>

事前登録入金締切：5 月 29 日(金)

※会員は，4 月 30 日(木)までに日本母性看護学会事務局に入会申込し，会費を納入した人。学生は当日学生証を提示。

演題登録期間：1 月 20 日(月)～3 月 20 日(金)

問い合わせ先：北里大学看護学部(母性看護・助産学)内事務局 担当：香取洋子

☎ 042-778-9361

✉ jsmn22@nrs.kitasato-u.ac.jp

🌐 <https://bosei22.secand.net>